

2019年度事業計画書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人箱崎自由学舎ESPERANZA

1 事業実施の方針

不登校児童・生徒や高校中退者及びその家族に対する教育相談業務や学舎の運営など、フリースクールの運営の事業を中心に実施し、日常の活動の中に、児童・生徒が社会に適応し、自立するための社会体験アクティビティーなどを取り入れていく。2012年度に導入した「訪問形式の相談及び学習活動支援」は需要は少ないが、要請があれば実施する。また、2018年度まで実施してきた、小・中学生対象の国際感覚を身につけさせるのための野外インターナショナルキャンプ（夏の長期休暇利用）は、キャンプ場の使用が困難になったことと経営的にマイナスのため今年度は中止する。しなしながら、国際感覚を身につけるための事業を2020年度実施に向けて準備する。さらに要望の多かった小学生の居場所フリースペースに関しては、隣家の空き家を活用し、2014年度よりフリースペースえすぺらんさの運営を開始、これを継続する。2016年度実施した修学旅行は、成果があったため、保護者に相談し、要望が多ければ実施する。さらに、2016年12月に「多様な教育機会確保法案」が成立した。これに伴い、フリースクールの活動が見直される可能性が高く、教育委員会等と連携を取りながら、不登校で悩んでいる子どもたちの居場所としての機能を強化・拡充していく。

なお、上述の事業を遂行するためには、安定した収入（事業収入、会費収入）が必要である。しかしながら、収益の上がる事業や安定した収入が確保できる事業の開発に至っていない。そこで、生徒増へ向けての親の会強化、生徒募集強化など、学舎運営改善に向けての活動も積極的に実施する。また、認定NPO法人格取得により、大手企業の支援を受けやすくする。200名を超える支援者の皆様や子どもたちに関わるボランティアの先生方によって支えられ現在まで運営できていることに感謝し、多くの支援者の皆さんの意向に沿えるよう、より居心地の良いフリースクールとして新たな展開を考える1年にしたいと考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
②フリースクールの運営事業	不登校児童・生徒や高校中退者及びその家族に対する教育相談の実施	毎日	学舎	4名	児童・生徒及びその家族多数	2,000
	座談会の開催	年2回 6月10月	なみきスクエア・箱崎公民館	4名	不特定多数の親等100名	110
	子育てに悩みをもつ親との「子育て井戸端会議」の実施	毎月1回 土曜 年12回	学舎 フリースペース	2名	不特定多数の親等80名	120
	教科指導を伴うフリースクールの運営	毎日	学舎	ボランティア 12名 4名	不特定多数の生徒15名	6,800
	フリースペースの運営	毎日	学舎 フリースペース	ボランティア 2名 4名	不特定多数の児童生徒5名	2,000
	野外アクティビティー	年10回 ～20回	近隣	ボランティア 20名 4名	不特定多数の児童生徒200名	2,100
	国際マラソンボランティア	12月1日	平和台競技場	4名	不特定多数の生徒15名	80
	地域餅つき大会	12月15日	ミニストップ 駐車場	4名	地域の方と当学舎の関係者80名	90
⑤国際感覚を養う事業 その他①③④⑥の事業	訪問相談及び学習支援			2名	不特定多数の児童生徒のべ5名	52
	事業計画立案 (今年度の実施なし)					

- ① 不登校児童・生徒や高校中退者及びその家族に対する教育相談や講演会の開催事業
- ② フリースクールの運営事業
- ③ 不登校に対する理解を啓発する講演、勉強会、意見交換会の開催事業
- ④ 自然体験や地域活動を通して児童・生徒の自主性を育む事業
- ⑤ 海外へのスタディツアーや外国の人々との交流会などを通して、地球人としての国際感覚を養う事業
- ⑥ 手作り品の製作や販売体験などを通して、児童・生徒の社会適応性を養う事業